

神奈川歯科大学 同窓会会報

Kanagawa
Dental
College
Alumni

第99号 ①発行人/藤田 晃
②編集人/小篠一雄・広報委員会
2004. 10. 20 ③印刷所/神奈川新聞社出版局



ご挨拶

同窓会会長
藤田 晃

中秋の名月を愛で、漸く落ち着いた季節を迎えますが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。7月に開催された第67回代議員会においては、各支部選出の代議員諸氏からの絶大なご理解とご協力のもとに活発な協議が行われ、同窓会活動への深い思いを示して頂いたことに感銘を覚えると同時に、厚く御礼と感謝を申し上げます。

会長に就任以来、アツという間に任期の半分が過ぎましたが、「会員と共に、会員のために」、「支部と共に、支部のために」執行部は一丸となって、明るく、楽しく、元気な同窓会活動に汗を流しているところです。今後の会務執行にご期待頂きたいと思います。

今年の夏は大雨、記録的な酷暑、そして台風の上陸により各地で多くの災害が発生しました。本会においても数名の先生が被災され、心ばかりではありますが、規定に則り本部からお見舞いを申し上げます。心身ともにご自愛なさって頂きますよう、またご活躍のほどを心からお祈り致します。

さて会務状況であります。会長就任当初より「会員増強」と「迅速な情報伝達」を唱えてまいりました。現在「組織強化に関する臨時委員会」と「IT推進に関する臨時委員会」を設置して協議を重ね、それぞれより答申を受けているところであります。これらの答申に基づいて、時間をかけて行わなければならないことはジックリ時間をかけて、また、

早期に実行できることは可及的に早く行うという方針で進めています。特に「IT推進に関する臨時委員会」では各県支部にホームページの設置をお願いし、さらに「ホームページ担当者メーリングリスト」を作成し、既に試験的ではありますが発信と受信を行っています。早速「本部と支部の距離が短くなった」、「支部間の連絡が迅速になった」などの声が寄せられています。今後は本部主催の講演会、或いは支部主催の講演会、支部行事などのタイムリーな相互情報の発信、受信などを企画する予定であります。そして第2段階として、「ホームページについての検討」を始めるところでもあります。また、「事務局からのお知らせメールマガジン」の準備も始めました。これは「訃報等の連絡専用」に用いるものであり、「メーリングリスト」のように相互発信、受信はできず、従来から行われていた「FAX連絡」に代わるものとして事務局から発信されます。本部同窓会役員と各県支部長(または専務理事)間を結ぶ連絡網と考えてください。この段階に至るまでの各県支部役員のご協力には心から感謝を申し上げます。しかし、まだまだ初期段階でありますので、今後も更なるご理解とご協力をお願い致します。

「会員増強」に関しては、母校在校生の保護者からなる「父母会」との定期的な交流を持つための準備を進めています。また、「大学学生会」が行っている各行事に対する物心両面のサポートも行っています。

「大学法人」との両輪の関係については、この度の新たな理事長の誕生により、更なる新しい関係の構築が期待されるところであります。我々同窓生の第二の本籍地は「横須賀市稲岡町」である、との共通認識の元で「大学法人」のさらなる発展を祈りたいと思います。

会員各位、そしてご家族の益々のご健勝を心からお祈りいたします。